

■少女の、弁慶の、山伏の、大お～芝あ～居い～■

行く手をふさぐは、昨日も山伏を3人斬ったという判官殿（富樫）。一行は、ここを通ったのが運の尽きと決死の覚悟で最後の勤行。山伏（弁慶）のそばに寄り、呪文を唱え、数珠をさらさらと押しもんだり。そして「勸進帳」のくんだりへ……

この「安宅」は、だるま屋少女歌劇部（DSK）でも、1935年（昭和10）10月公演で歌舞劇として上演されました（11月公演でも続演）。

弁慶役に泉澄子さん、義経役に春日陽子さん、富樫役に濱真砂子さんという配役で、出演者は全員少女、義経役の春日陽子さんは蹠部（足の裏）捻挫を押しての出演、DSK版「安宅」の評価は……？

（左）泉澄子 （中）春日陽子 （下）濱真砂子
弁慶 義経 富樫

A0502-00130 高田富文書（当館蔵）「DSK、だるま屋少女歌劇 プロマイド他 No.1」より



■月替展示関連企画■

ミニ展示 | 「歴史的公文書ヒストリア ～音を楽しむ『県立音楽堂』その誕生の記録～」

概要：県内外から高く評価される「県立音楽堂」誕生の秘密を歴史的公文書から探ります。

会期：8月21日（水）まで

会場：文書館 閲覧室

イベント | 「Night Archives」

概要：文書館で夕涼み、音楽と展示を楽しみませんか？（ミニ演奏会+ギャラリートーク）

日時：7月7日（日）17:15～17:45

場所：文書館 閲覧室（申込不要）

■講演会・講座■

講座 | フィアラ先生の古典文学ゼミナール 『古事記』を読む 第3回（全11回）

日時：7月20日（土） 13:30～15:00

会場：文書館 研修室

講師：カレル・フィアラ（文書館古典文学顧問・福井県立大学名誉教授）

定員：40名（要申込、先着順）

講演会 | おかねでみる戦国時代の福井県

日時：7月21日（日） 14:00～15:30

会場：県立図書館 多目的ホール

講師：高木久史氏（安田女子大学准教授・元織田文化歴史館学芸員）

定員：150名（要申込、先着順）

講座 | 中学生郷土新聞づくりポイント講座

日時：（嶺北）7月27日（土）

（嶺南） 28日（日）

（時間）10:00～12:00

講師：徳島泰彦氏（福井新聞社NIEコーディネーター）

文書館職員

会場：（嶺北）県立図書館 多目的ホール

（嶺南）敦賀市立図書館 第2研修室

■ちょっと昔の7月風景■



▲ウニ採り

昭和54年7月21日 70393



▲御本城橋修理

昭和53年7月28日 70314

■文書館■ 〒918-8113 福井市下馬町51-11

電話：0776-33-8890

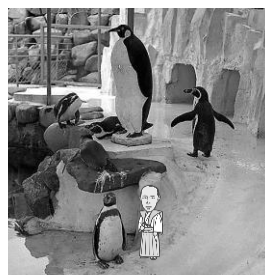
ファクス：0776-33-8891

メール：bunshokan@pref.fukui.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時

ウェブサイト

■フレンドリーバス（無料）をご利用ください■



（背景）ペンギン（越前松島水族館）
昭和35年7月10日 64990

■7月の開館日カレンダー■

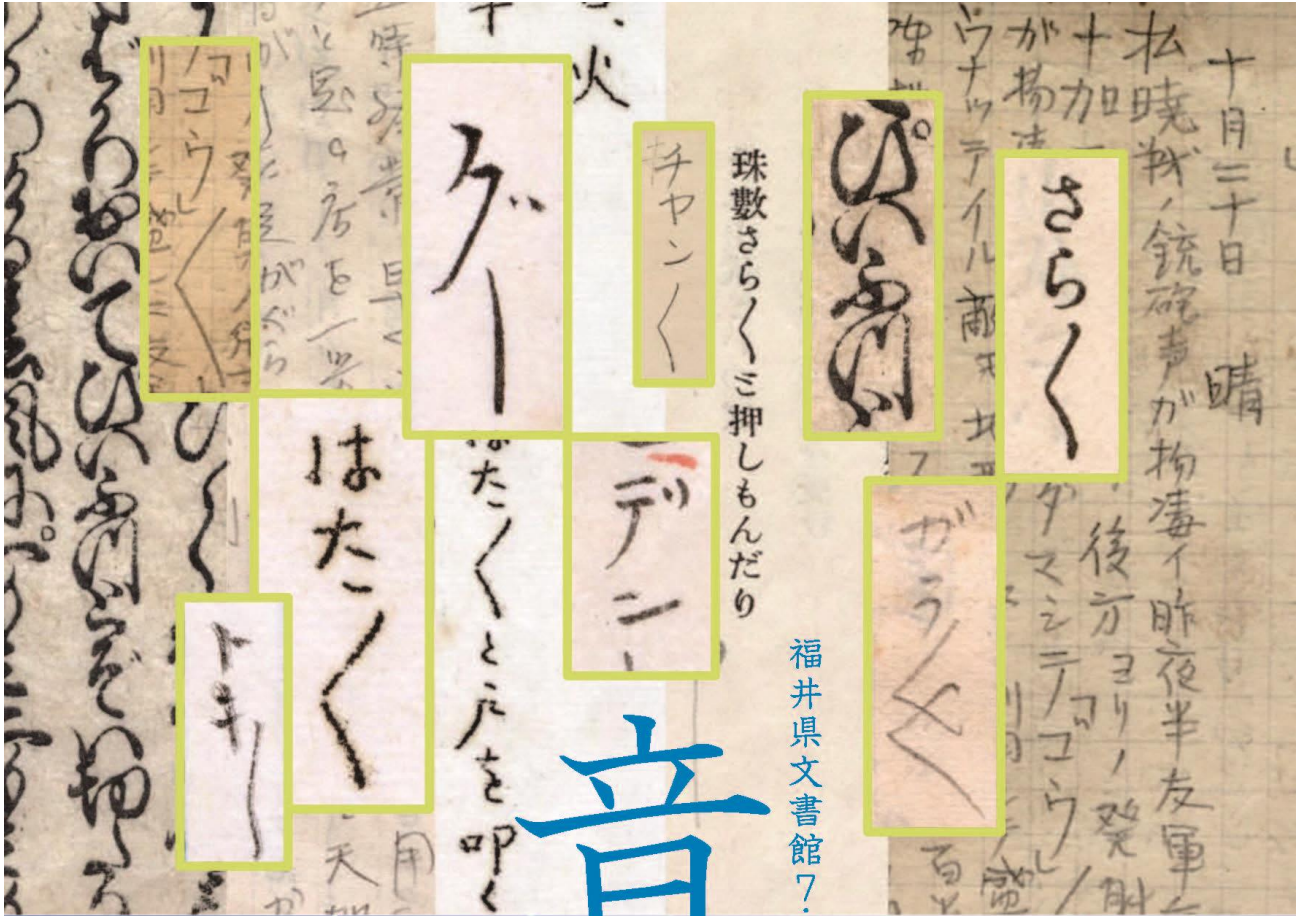
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

は休館日です

■ 今月の展示



人は、録音機器のない時代から「音」を文字に落としこみ、記録してきました。新生活のはじまりを告げる「チャンチャンチャンチャン」、山谷に銃砲声こだまする「ゴウゴウ」、天地も砕く「ガラガラ」、あの松平春嶽7歳の「ドキドキ」あの時代が、あの場面が、あの瞬間が、資料から臨場感たっぷりによみがえります。



音をびびる

福井県文書館 7・8月 月替展示

2019年6月28日(金)
～8月21日(水)

ワークショップ「音をえがく」
7月12日(金)～8月21日(水)

福井県文書館 Fukui Prefectural Archives

918-8113 福井県福井市下馬町51-11 TEL 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

MAIL bunshokan@pref.fukui.lg.jp <https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp>

画像
「休暇日記」
藤野巖九郎家文書(当館寄託)00125-00064
「(山砲兵分隊滝本孝之陣中日記)」
滝本義興家文書(当館蔵)01027-00003
「(福井地震体験日記)」
岩井正文家(当館蔵)A0193-00001
「正二位慶永公御著述真雪筆紙」(写)
松平文庫(県立図書館保管)A1043-21554 など